

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-21482

(43)公開日 平成5年(1993)3月19日

(51)Int.Cl.⁵

H05K 7/14

識別記号

庁内整理番号

FI

技術表示箇所

F 7301-4E

審査請求 未請求 請求項の数1(全2頁)

(21)出願番号 実願平3-77634

(22)出願日 平成3年(1991)8月30日

(71)出願人 000204033

太平洋工業株式会社

岐阜県大垣市久徳町100番地

(72)考案者 河合 幸仁

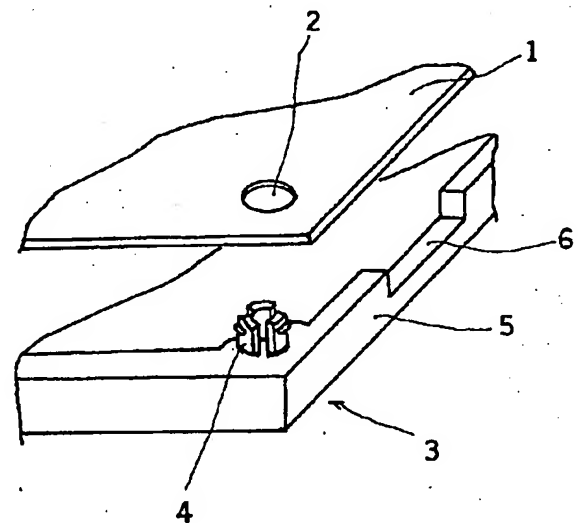
岐阜県大垣市久徳町100番地 太平洋工業株式会社内

(54)【考案の名称】 プリント基板の取付構造

(57)【要約】

【目的】 本考案は、プリント基板の下面に樹脂製の下ケースをワンタッチで着脱できるようにすることを目的とする。

【構成】 本考案のプリント基板の取付構造は、プリント基板1のコーナー部に固定穴2を設け、一方、前記固定穴2に対応する樹脂製下ケース3のコーナー部に、内方向に可撓性を有する凸形突起4を設けると共に、前記下ケースの側壁5上部の適宜な位置に凹状の切欠き6を設けたことを特徴とするものである。



BEST AVAILABLE COPY

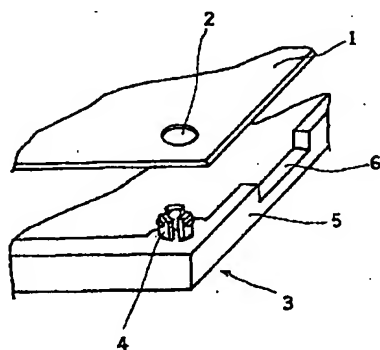
(2)

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 プリント基板1のコーナー部に固定穴2を設け、一方、前記固定穴2に対応する樹脂製下ケース3のコーナー部に、内方向に可撓性を有する凸形突起4を設けると共に、前記下ケースの側壁5上部の適宜な位置に凹状の切欠き6を設けたことを特徴とするプリント基板の取付構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】



【図2】



【図1】 本考案に係るプリント基板の取付構造を示す斜視図。

【図2】 本考案に係る凸形突起の拡大平面図。

【符号の説明】

1 プリント基板。 2 固定穴。 3 下ケース。 4 凸形突起。 5 側壁。 6 凹状の切欠き。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本考案は、プリント基板の取付け、取外しが容易にできるプリント基板の取付構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、プリント基板の下面を保護するために樹脂製の下ケースが使用されている。そして、この下ケースをプリント基板に固定するには、ねじ止めしたり、あるいは接着剤にて固定していた。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

従来のねじ止めによって固定する場合は、ねじ等の取り付けや取り外しに大変手間がかかったり、また、接着剤や両面テープ等で貼付けて固定する場合は、取り付け時に長時間を要するだけでなく、取り外す必要が生じた場合には、接着剤等を無理して引き剥がさなければならないという問題点があった。

本考案は、上記のような問題点を解決するためになされたもので、プリント基板の下面に樹脂製の下ケースをワンタッチで着脱できるようにすることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】

本考案のプリント基板の取付構造は、プリント基板1のコーナー部に固定穴2を設け、一方、前記固定穴2に対応する樹脂製下ケース3のコーナー部に、内方向に可撓性を有する凸形突起4を設けると共に、前記下ケースの側壁5上部の適宜な位置に凹状の切欠き6を設けたことを特徴とするものである。

【0005】

【作用】

本考案のプリント基板の取付構造は、プリント基板1を下ケース1上に押し付ければワンタッチで固定ができ、取り外す場合は、凹状の切欠き6に硬貨等を差

し込んでねじれば容易に取り外すことができる。

【0006】

【実施例】

以下、本考案の実施例を図面について説明する。

図1は、本考案に係るプリント基板の取付構造を示す斜視図である。

プリント基板1は、そのコーナー部に固定穴2が設けられている。

樹脂製下ケース3は、前記プリント基板1の下面を保護するために用いられるもので、該ケース上面のコーナー部には前記固定穴2に対応させて内方向に可撓性を有する凸形突起4が設けられている。なお、前記凸形突起4は、図2に示すように、円柱を縦方向に3分割したような形状となっている。

また、前記下ケース1の側壁5上部の適宜な位置には、硬貨等を差し込むための凹状の切欠き6が設けられている。

【0007】

【他の実施例】

なお、上記の実施例では、プリント基板1の固定について説明したが、さらにプリント基板の上方に取付穴を有する上ケース（図示せず）を取り付ければプリント基板の上面も保護することができる。

【0008】

【考案の効果】

本考案によれば、下ケース1に設けた内方向に可撓性を有する凸形突起4とプリント基板の固定穴2との組合せにより、両者をワンタッチで固定することができ、取り外ずしに際しても、凹状の切欠き6を利用することにより容易に行うことができる。